



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究会報・編集後記
Citation	独語独文学研究年報, 37, 46-49
Issue Date	2011-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/45314
Type	other
File Information	kaiho.pdf



研 究 会 報

講義題目 (2010 年度)

[学部]

ドイツ語学概論	ドイツ語の構造とその背景 10	清水	誠
独語学概論Ⅱ	ドイツ語学の諸相	清水	誠
ドイツ語学	ドイツ語学の基礎知識 10	清水	誠
ドイツ語学演習Ⅰ	ドイツ語学文献読解Ⅰ: 10	清水	誠
ドイツ語学演習Ⅱ	ドイツ語学文献読解Ⅱ: 10	清水	誠
ドイツ文学史概説	文学史記述の諸問題	山田	貞三
独文学史概説Ⅱ	近代以降のドイツ文学	山田	貞三
ドイツ文学演習Ⅰ	ドイツ文学入門 10	山田	貞三
ドイツ文学演習Ⅱ	ドイツ文学研究 10	山田	貞三
ドイツ文学演習Ⅰ	掌編・短編を読む	藤本	純子
ドイツ文学	ファウスト文学の系譜とその現代的意義 ～中世ファウスト伝説からゲーテ、トーマス・マンの文学まで～	三浦	國泰
ドイツ文学	Was gibt's Neues?	Gabriele Christ-Kagoshima	
ドイツ文学演習Ⅱ	Leben in Deutschland in Text und Bild	Gabriele Christ-Kagoshima	

[大学院]

ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ゲルマン語学の諸問題 10	清水	誠
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語学の諸問題 10	清水	誠
言語分析論特別演習	歴史比較言語学研究 10	清水	誠
博士論文指導特殊演習		清水	誠
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft10-1	山田	貞三
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft10-2	山田	貞三
博士論文指導特殊演習		山田	貞三
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	ヘルタ・ミュラーの文学	山田	貞三
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	ファウスト文学の系譜とその現代的意義 ～中世ファウスト伝説からゲーテ、トーマス・マンの文学まで～	三浦	國泰

研究会行事記録

1. 2010年2月10日、北海道大学文学部 W205 号室（新棟2階）において2009年度修士論文・卒業論文発表会が行われた。
2. 2010年7月2日の総会にて、幹事選出等が行われた。

2009年度 独語独文関係の論文題目

卒業論文

- 岡部 ちひろ： 「Mangaにおけるドイツ語オノマトペの考察」
- 本多 竜二： 「フケーの『ウンディーネ』——民間伝承をモチーフとした創作メルヒェン」

修士論文

- 高橋 希衣： 「文学作品の翻訳に見る異文化伝達法 ～『雁』と *Die Wildgans* における言語・文化の差異によって生じる問題を中心に～」
- 松橋 知子： 「1814年以降のノルウェーの言語状況についてーデンマーク語との比較においてー」
- 村岡 千紘： 「マス・メディアと議題設定機能 ～ドイツ二大紙の北京五輪報道の考察～」

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関誌「独語独文学研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会会員は北海道大学大学院文学研究科・独語独文学関係の教官・院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。
5. 本会会員は上の活動の遂行のため、年会費5千円を払う。
6. 本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。
7. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。
8. 本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。
9. 本会に賛助会員をおく。

論文執筆要項

1. 論文審査
 - 1) 本誌は論文の掲載に関して審査を行う。
 - 2) 論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。
採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。
 - 3) 審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。
2. 原稿執筆規定

執筆申し込み : 執筆希望者は、各年度の6月に行われる総会の前日までに、その旨を編集委員会に申請すること。

ページ数 : 20ページ程度。1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4。

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。2行にわたっても構わない。また、別紙にドイツ語または他の欧文による題目を記載する。

注釈・文献 : 注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目（題目との間に1行あけること）、太字またはゴシックで右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。

締め切り : 10月31日。

会 員 名 簿

※青 柳 謙 二	阿 部 和 夫	石 原 次 郎	岩 井 洋
岩 田 聡	※植 木 迪 子	梅 津 真	岡 田 江 里
川 崎 良 江	※川 島 淳 夫	川 嶋 幸 子	岸 川 良 蔵
岸 本 明 子	北 原 寛 子	熊 坂 亮	佐 藤 修 子
佐 藤 俊 一	山 藤 顕	塩 谷 幸 子	清 水 誠
シャイフェレ馨子	神 久 聡	○杉 浦 康 則	鈴 木 将 史
高 橋 修	高 橋 希 衣	田 中 剛	対 馬 晃
寺 田 龍 男	戸 松 豊	○中 村 寿	中 祢 勝 美
名 執 純 子	名 執 基 樹	西 川 智 之	西 出 佳 代
○野 村 まり子	藤 本 純 子	本 多 竜 二	丸 山 絢 子
前 原 真 吾	松 橋 知 子	三 浦 國 泰	森 田 一 平
◎山 田 貞 三	山 田 善 久	渡 邊 清 美	

◎は会長

○は幹事

※は名誉賛助会員

編集後記

レフェリー制を導入して 10 年目となりました。掲載論文は厳正な審査を受けた論文です。ご多忙中、快くレフェリーを引き受けてくださった方々には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

編集委員一同